

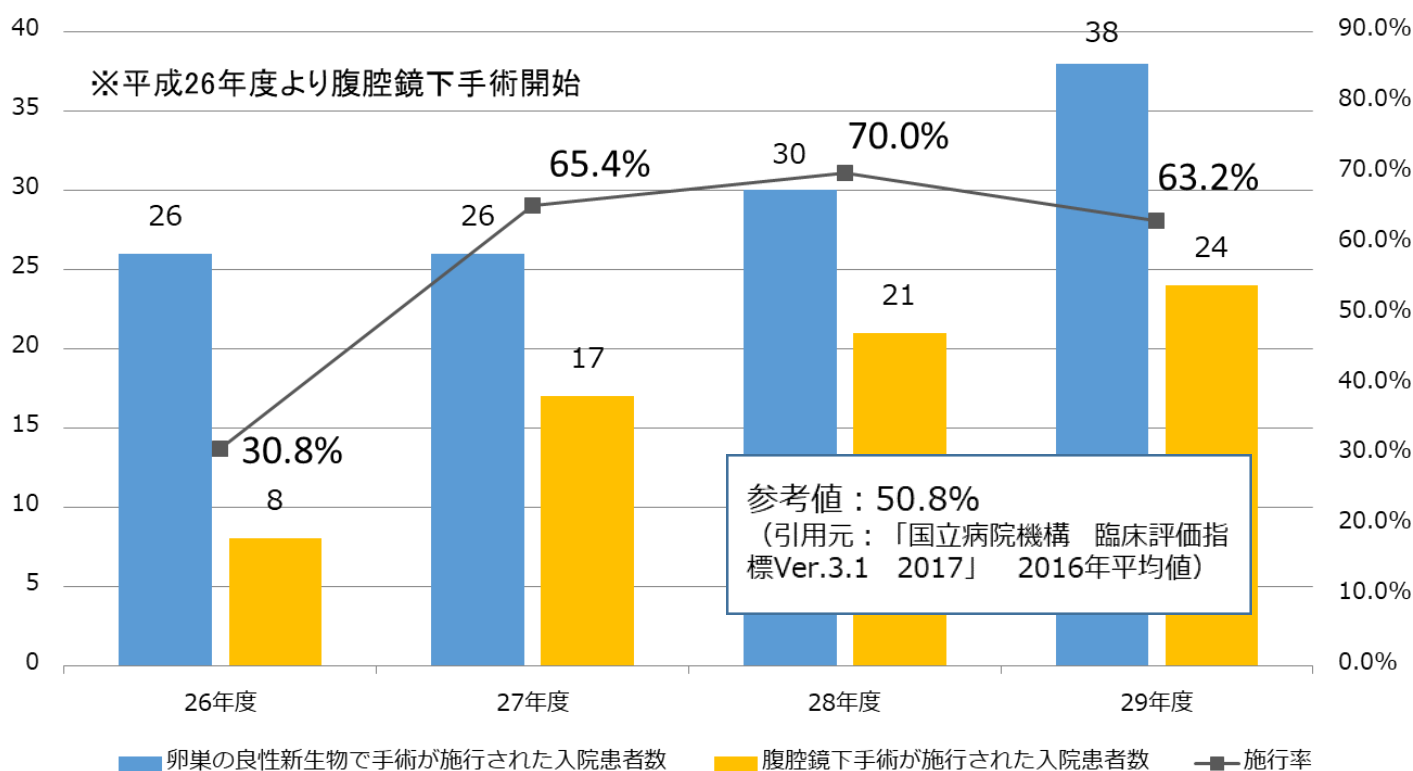
34 良性卵巣腫瘍患者に対する 腹腔鏡下手術の施行率

指標の解説

- 腹腔鏡下手術を施行することによって、術後の疼痛コントロール、入院期間の短縮につながる。
- 当該手術の施行率が高いと良性卵巣腫瘍に対する医療の質の向上に貢献していると言える。

分子：腹腔鏡下手術が施行された入院患者数

分母：卵巣の良性新生物で手術が施行された入院患者数



26年度より良性卵巣腫瘍に対する腹腔鏡下手術を開始。
 29年度はやや減少しているが、参考値と比較すると高水準を維持している。